

## 船舶インシデント調査報告書

平成23年3月31日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲 也

委員 石川 敏 行

インシデント種類	運航不能（機関損傷）
発生日時	平成22年9月11日（土） 08時00分ごろ
発生場所	石川県志賀町海士 <sup>あま</sup> 埼北方沖 志賀町海士埼灯台から真方位358° 3.3海里（M）付近 （概位 北緯37° 12.0′ 東経136° 40.1′）
インシデント調査の経過	平成22年9月17日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 乗組員等に関する情報	モーターボート ラ・マドンナⅢ、5トン未満 251-14238富山、個人所有 8.89m（Lr）×2.49m×0.60m、FRP ディーゼル機関、110.33kW、平成3年2月 船長 男性 61歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許年月日 平成15年7月14日 免許証交付日 平成20年4月23日 （平成25年7月13日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	主機船内外機のユニバーサルジョイント折損、同ジョイント近くのクラッチ操縦用ワイヤ切断
インシデントの経過	本船は、船長が1人で乗り組み、友人1人を乗せ、海士埼北方沖を航行中、平成22年9月11日07時30分ごろ、友人が洗面所を使用するので船体の動揺を押さえるために減速し、08時00分少し前、元の速力に戻すため、主機の回転数を上げることとした。 本船は、船長が主機の操縦レバーを上げ、毎分回転数2,000及び速力12～13ノットまで増速したとき、08時00分ごろ、海士埼灯台から真方位358° 3.3M付近において、主機のアウトドライブ近くで異音を発するようになった。 船長は、主機を停止して船内外機などを点検したところ、ユニバーサルジョイント部が損傷していることを認め、航行の継続はできないと判断し、09時30分ごろ、富山県のマリナーや知人を經由して海上保安部に救助を要請した。 本船は、来援した巡視艇にえい航され、14時00分ごろ、石川県志賀町富来漁港に入港したのち、富山県に陸上搬送された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 4、視界 良好

	海象：波高 約 1.5 m	
その他の事項	<p>ユニバーサルジョイントを包み込むゴム製蛇腹状のベローズは、下半分が破損していた。</p> <p>ユニバーサルジョイントには、摩耗、変色、金属疲労の痕跡があった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、海士埼北方沖を航行中、主機船内外機のユニバーサルジョイントが破損し、アウトドライブの運転ができなくなったものと考えられる。</p> <p>本船は、ユニバーサルジョイントのゴム製ベローズが損傷して海水が入り、同ジョイントが腐食疲労により破損した可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本インシデントは、本船が、海士埼北方沖を航行中、主機船内外機のユニバーサルジョイントが破損したため、アウトドライブの運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>	